



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月20日

上場会社名 株式会社トレードワークス 上場取引所 東  
 コード番号 3997 URL <https://www.tworks.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅見 勝弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安藤 千年 TEL 03-5259-6611  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月29日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	389	9.2	△92	—	△92	—	△64	—
2019年12月期第1四半期	356	△55.5	△1	—	△0	—	△0	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△19.48	—
2019年12月期第1四半期	△0.25	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,639	1,385	84.5
2019年12月期	1,748	1,466	83.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,385百万円 2019年12月期 1,466百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,313	16.3	144	15.6	144	14.4	100	11.9	29.89

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	3,309,600株	2019年12月期	3,305,100株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	160株	2019年12月期	160株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	3,307,956株	2019年12月期1Q	3,218,497株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e tにて同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、長期化する米中貿易摩擦の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により減速傾向が強まり、先行きは極めて不透明な状況になっております。また、我が国経済は、世界経済の減速を受けて輸出が低迷していることに加え、新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりにより経済活動が停滞し、今後の日本経済においては厳しい局面を迎えております。

当社の属する情報サービス業界においては、今後、労働力人口の減少を背景とした働き方改革・生産性向上に資するIT投資は高い成長が見込まれる一方、これを担うべきIT技術者の不足感は強く、需給ギャップは今後さらに拡大すると予想されております。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、法人等でのテレワークや大学等の教育機関での遠隔教育の需要により、テレワーク用PCやモバイル機器、関連アプリケーションのニーズが急拡大しており、社内インフラ投資需要が必要不可欠となっております。

このような事業環境の変化に対応するため、収益の変動が大きなフロー中心から、持続的成長が可能なストック中心の収益・事業構造への転換を引き続き進めております。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高389,196千円(前年同四半期比9.2%増)、営業損失92,562千円(前年同四半期は営業損失1,253千円)、経常損失92,373千円(前年同四半期は経常損失586千円)、四半期純損失64,435千円(前年同四半期は四半期純損失806千円)となりました。

なお、当社は証券システム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、各事業区分別の状況は以下のとおりであります。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業におきましては、従来より継続的に取り組んでおりますストック中心への収益構造改革に向けてさらなる強化を図ってまいりました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、テレワーク用PC及びモバイル機器、関連アプリケーションの整備等により、一部リリースの遅延が発生した結果、売上高は338,488千円(前年同四半期比8.8%増)となりました。

## (FXシステム事業)

FXシステム事業におきましては、当事業の主力商品であります、「TRADING STUDIO / 注文機能付フロントシステム(リニューアル版)」の新サービス提供により、売上高は44,300千円(前年同四半期比9.5%増)となりました。

## (セキュリティ診断事業)

セキュリティ診断事業におきましては、当事業の主力製品であります「SecuAlive」のリニューアルの遅れにより遅延となっておりました契約の履行および受注、また新規顧客へのサービス提供により、売上高は6,408千円(前年同四半期比35.1%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,008,983千円となり、前事業年度末に比べ153,795千円減少いたしました。これは主に売掛金の回収に伴い現金及び預金が増加した一方、売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は630,096千円となり、前事業年度末に比べ44,537千円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定や繰延税金資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,639,079千円となり、前事業年度末に比べ109,258千円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は187,456千円となり、前事業年度末に比べ31,199千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は65,938千円となり、前事業年度末に比べ2,330千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、253,394千円となり、前事業年度末に比べ28,869千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,385,684千円となり、前事業年度末に比べ80,388千円減少いたしました。これは主に配当金の支払や四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.5%（前事業年度末は83.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、概ね当初計画どおりに推移していることから、2020年2月7日付「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による業績への影響については注視を続け、今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	422,266	769,670
売掛金	688,414	128,871
仕掛品	16,405	90,916
未収消費税等	21,094	—
その他	14,598	19,525
流動資産合計	1,162,779	1,008,983
固定資産		
有形固定資産	104,623	100,991
無形固定資産		
ソフトウェア	288,697	274,088
ソフトウェア仮勘定	—	35,000
その他	153	153
無形固定資産合計	288,850	309,241
投資その他の資産		
投資有価証券	49,440	49,440
繰延税金資産	25,180	53,253
敷金及び保証金	117,463	117,168
投資その他の資産合計	192,084	219,862
固定資産合計	585,558	630,096
資産合計	1,748,338	1,639,079
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	99,145	103,425
未払法人税等	38,517	1,624
未払消費税等	7,138	1,246
前受金	19,551	16,881
その他	54,303	64,278
流動負債合計	218,656	187,456
固定負債		
退職給付引当金	63,608	65,938
固定負債合計	63,608	65,938
負債合計	282,264	253,394
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	303,441	303,726
資本剰余金	293,441	293,726
利益剰余金	869,572	788,611
自己株式	△380	△380
株主資本合計	1,466,073	1,385,684
純資産合計	1,466,073	1,385,684
負債純資産合計	1,748,338	1,639,079

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	356,332	389,196
売上原価	263,081	368,885
売上総利益	93,251	20,311
販売費及び一般管理費	94,504	112,874
営業損失(△)	△1,253	△92,562
営業外収益		
受取利息	31	14
受取家賃	—	139
貸倒引当金戻入額	482	—
その他	152	64
営業外収益合計	666	218
営業外費用		
為替差損	—	29
営業外費用合計	—	29
経常損失(△)	△586	△92,373
税引前四半期純損失(△)	△586	△92,373
法人税、住民税及び事業税	137	134
法人税等調整額	82	△28,072
法人税等合計	219	△27,938
四半期純損失(△)	△806	△64,435

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。